

ジャーナリズムと日本の危機

～ワセダクロニクルの挑戦～

2020年6月4日

ワセダクロニクル編集長 渡辺周

脈々と続く「大本営」

1、黒川検事長と麻雀をする理由

半径10メートルの評価が気になる「サラリーマン記者」

リークの誘導が生んできた冤罪事件

「リーク」と「告発」の違い

2、マスコミが政権に逆らえない理由

軽減税率を新聞はどうやって勝ち取ったか

「フェイク部数」の衝撃

3、崩壊

認知症のお年寄りを標的にする新聞販売

ワセダクロニクルの実践

1、ワセクロ五つの約束とは

2、電通から核科学者の拉致疑惑まで

タブーは一切なし。最新の相手は巨大たばこ企業

3、国際コラボで黒船効果

韓国ニュース打破、ガーディアン、OCCRP

4、問題はお金

持続可能な経済モデルとは～世界で一番成功したのは韓国

育てる

1、サラリーマン記者増殖。誰が日本のジャーナリズムを支えるのか？

2、秋から講座「Muckrakers」開始！

市民一人一人がジャーナリストに、ジャーナリストは探査報道のスキルを